

とまこまい 市議会だより

第32号

2021年2月9日発行

TOMAKOMAI CITY
COUNCIL NEWS

編集・発行・お問合せ先：苫小牧市議会 とまこまい市議会だより編集委員会

〒053-8722 苫小牧市旭町4丁目5番6号 TEL 0144-32-6785 FAX 0144-33-1839

共通記事

第10回臨時会、補正予算の主なもの 2p～、第11回定例会概要、
議長挨拶「NEXT STAGE」 3p
常任委員会 4p、特別委員会 5p、第12回臨時会 5p、議会改革検討会 5p

会派のページ

各会派議員活動報告 6p～、

ピックアップ

「市議会だより」発行終了！今後の情報発信の方法は？ 12p



苫小牧市議会 HP

苫小牧市議会

検索

第10回臨時会を開催しました。《令和2年11月30日》

第11回定例会を開催しました。《令和2年12月3日(休)～15日(火)》 第12回臨時会を開催しました。《令和3年1月15日(金)》

とまこまい市議会だよりは、
新たなスタイルで、
皆さまに情報発信を
続けてまいります。

<https://www.city.tomakomai.hokkaido.jp/gikai/>

詳しくは12ページをご覧ください。

Next Stage





第11回定例会(令和2年12月3日～15日)

第11回定例会は12月3日から9日の会期の間、予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため12月15日までの13日間の会期で、報告3件、陳情2件、選挙1件、議案17件、諮問1件などの審議が行われました。

今定例会で一般質問に登壇した議員は22名、主な内容として、新型コロナウイルス感染症の関連事項について、IR（カジノを含む統合型リゾート）、交通行政、教育行政、市民行政などについて活発に質問や意見・要望が提案されました。

会期の後半には、各常任委員会・特別委員会が開催されました。

※各委員会の内容につきましては、常任委員会・特別委員会の4ページ・5ページをご覧ください。

賛否の分かれた案件

			新 緑	公明党 議員団	民主 クラブ	改革 フォーラム	日本共産党 市議団	会派市民	無所属
第10回臨時会 報告第 1 号	令和元年度苫小牧市一般会計 歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	○	○	×	○	○
第11回定例会 議案第 7 号	苫小牧市子どもを虐待から守 る条例の制定について	可決	○	○	○	×	○	○	○
第11回定例会 陳情第 1 号	寿都町並びに神恵内村の核のごみ 最終処分場の文献調査応募問題に 係る決議に関する陳情	不採択	×	×	○	×	○	×	×
第11回定例会 陳情第 2 号	国の責任による少人数学級の実現 を求める要望意見書提出に関する 陳情	不採択	×	×	○	×	○	×	×
各会派所属議員 (金澤俊議長は採決には加わりません)			矢嶋 翼 板谷 良久 竹田 秀泰 木村 司 金澤 俊 宇多 春 喜山 新 谷 二 芳則	神山 哲太郎 西 厚子 大野 正和 藤田 広美 池田 謙次	松尾 省勝 岩田 薫 佐々木 修司 橋本 智子 小山 征三	松井 雅宏 越川 慶一 首藤 孝治 牧田 俊之	小野寺 幸恵 幸恵 啓司 原 隆 富岡 隆	桜井 忠 合川 芳一	触沢 高秀

○：賛成、×：反対、△：会派で賛否が分かれた場合、－：採決に加わらなかった場合

議長挨拶

議長 金澤 俊

NEXT STAGE

2021年、新たな年もどうぞよろしく願います。

さて、この度、平成24年から定例会終了ごとに発行してまいりました「とまこまい市議会だより」は、今回の定例会からは姿を変えていくこととなりました。

我々が行う情報発信。これは、苫小牧市議会基本条例の最も大きな主旨である「開かれた議会」を実現するために行っているもので、市議会だよりも議会改革の一環で行ってきました。

初刊となる創刊号から現在に至るまで、「いかに市民の皆さんに手に取って読んでもらうか」「いかに読みやすい内容にするか」など、読み手の

詳細は本局最終ページに掲載させていただきますが、今後はインターネットと紙媒体の双方を複合的に活用する形での情報発信方法となり、より多くの市民の皆さまが市議会の情報に触れやすい環境を作ってまいりたいと考えています。

より「開かれた議会」実現への「NEXT STAGE」へ。

第10回臨時会(令和2年11月30日)

第10回臨時会を11月30日(月)に開会し、報告4件、議案3件の審議が行われました。今臨時会では、決算審査特別委員会に付託された令和元年度一般会計及び企業会計・特別会計の決算審査結果が報告され、一般会計は賛成多数で、企業会計・特別会計は全会一致で委員長報告どおり決定、また、条例の一部改正と契約の締結について、原案通り可決されました。

第11回定例会(令和2年12月3日～15日)

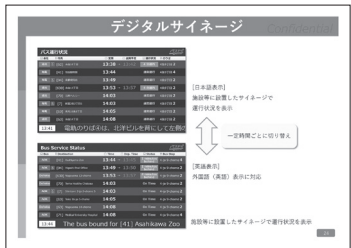
令和2年度一般会計補正予算 (第8・9回)の主なもの

入支援事業

苫小牧版MaaS構築事業 ▶2,196万円

- ・バスロケーションシステム導入支援事業
- ・MaaS実証事業検討業務

※MaaS→Mobility as a Service (モビリティ・アズ・ア・サービス) の略語で、「サービスとしての移動」と訳されます。目的地までの移動をICT(情報通信技術)やAIを活用しながら、極限まで効率化することを目指す考え方。



指定管理施設管理維持体制持続化事業 ▶650万円

指定管理者が行う新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に要した経費を補助。

【民生費】

(第8回)

保育施設等従事者慰労金給付事業 ▶330万円

コロナ禍で事業継続を行った、保育所、幼稚園、認定こども園等で感染リスクを抱えながら継続して業務等に従事した職員を対象に慰労金を支給していたが、対象者が当初想定を上回ったための補正予算。(対象人数100人)

【環境衛生費】

(第8回)

保健センター等 医療機器整備事業

▶1,854万6千円

保健センター及び夜間・休日急病センターの備品整備。

【労働費】

(第8回)

緊急雇用対策事業 ▶3,160万円

道路清掃・雪氷除去業務、公園広葉樹剪定・伐採業務を行う。

【教育費】

(第8回)

小・中学校校舎網戸整備事業 ▶1億160万円

新型コロナウイルス感染症対策として、窓を開けて換気の徹底を図っているところであるが、ほとんどの学校で網戸が設置されておらず、虫の侵入などにより授業に支障が出ていることから網戸を設置する。(市内小・中学校計37校)

【民生費】

(第9回)

ひとり親世帯臨時特別給付金給付事業(基本給付の再支給分) ▶1億5,623万円(専決処分)

国の新型コロナウイルス感染症対策として、令和2年8月にひとり親世帯臨時特別給付金の基本給付がされたが、ひとり親世帯の生活実態が依然として厳しい状況にあることから、年末年始に向け、再度同様の基本給付(再支給分)の支給を実施。

常任委員会

◆総務委員会

◇反対多数で陳情を不採択！

越川 慶一 委員長

「寿都町並びに神恵内村の核のごみ最終処分場の文獻調査応募問題に係る決議に関する陳情」については、審査の結果、願意に沿いがたく不採択となりました。

陳情者から「農業・漁業分野、観光分野などへの風評被害も含め住民の生活環境に極めて重大かつ深刻なものになる可能性がある」などの趣旨説明が行われ、市側から「北海道制定の特定放射性廃棄物に関する条例を遵守し、本市としては放射性廃棄物の最終処分場を受け入れることはない」などの説明がありました。

質疑では「放射性廃棄物の持ち込みは慎重に対処すべき」などの意見の一方で「放射性廃棄物の最終処分は重要な問題であり未来につけて回してはならない」などの意見が出され、反対多数で不採択となりました。



委員会風景

◆厚生委員会

◇幼児死体遺棄事件に
主委員が質疑！

宇多 春美 委員長

苫小牧市立病院新改革プラン自己評価及び令和2年度苫小牧市立病院改革プラン評価報告書については、紹介者数増の取り組みや訪問診療の現状について質疑があり、苫小牧市高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画（計画素案）については「シルバリーハビリ体操」指導士育成のため養成講座の要望、有償ボランティア・ケアマネジャーへの支援などの質疑がありました。



委員会風景

その他の事項で、幼児死体遺棄事件について全委員から質疑があり、報道されていることに対しての事実関係及び市が捉えている情報などに対して、苫小牧市情報公開条例に照らし、事実関係は警察の捜査段階であり、相談や支援の有無を含めて個人情報にあたるため公表はできないなどの答弁がありました。

◆文教経済委員会

◇苫小牧市史編さんの進捗状況についてなど質疑！

大西 厚子 委員長

「国の責任による少人数学級の実現を求める要望意見書提出に関する陳情」については審査の結果、不採択となりました。

所管事項の「成年年齢引下げに伴う式典の在り方について」では、アンケートなどの結果を踏まえ、式典の対象年齢を20歳とし、名称を「（仮称）苫小牧市はたちのつどい」とするなどの説明がありました。「苫小牧市史編さんの進捗状況について」では、新「苫小牧市史」編さんの方針などについて説明があり、委員からは、最終案のチェックについて、女性史の視点を盛り込むことについて、構成・体裁についてなど質疑が交わされました。ほかに、コロナ禍における市内事業者の状況と支援について質疑がありました。



現在の苫小牧市史

◆建設委員会

◇市営住宅管理業務の民間委託について議論！

谷川 芳一 委員長

市営住宅管理業務の民間委託では既存住宅の建替えや解体により管理戸数を削減するまでは段階的に業務委託を拡大し、将来的に指定管理者制度の導入を見据えることが報告されました。委員からは委託による効果について質疑があり、令和3年10月から民間委託を開始し、その効果額は約250万円、管理事務所時間延長や休日対応などのサービス向上について答弁がありました。

橋梁長寿命化修繕計画改定では平成26年度から5年間の点検結果を踏まえ、令和2年から今後10年の修繕計画が示されました。

その他、水道スマートメーター実証試験、市営住宅など長寿命化計画（案）について報告がありました。



委員会風景

特別委員会

◆総合開発特別委員会

◇IR誘致に向けた取組み状況の説明を受ける！

竹田 秀泰 委員長

最初に委員会所管の要望として、東部開発の推進、港湾機能の強化、苫小牧海上保安署の海上保安部への昇格、北海道運輸局苫小牧海事事務所の運輸支局への昇格、苫小牧税関支署の体制強化について各中央省庁に要望したことを報告しました。

次に、米軍再編に伴う米軍機訓練移転に関する主な経過及び訓練計画の概要、航空機事故、航空機の部品落下事案、新千歳空港の24時間運用に関する苫小牧地域議会における地域振興策などの内容が示されました。



IR位置図

また、苫小牧国際リゾート構想として、IR誘致に向けた取組み状況についての報告があり、インフラ整備や自然環境保全の考えが示されたことから、多くの委員より活発な質疑がありました。

◆安全・安心及び市民ホールに関する特別委員会

◇市民ホール要求水準書示される！

松尾 省勝 委員長

東日本大震災や北海道胆振東部地震などの教訓を踏まえ、防災・減災の取り組みを市として強化してきましたが、市民の生命・財産を守り、自然災害に対する脆弱さを見つめ直し、強化を図るための苫小牧市強化計画（案）についての報告がありました。

また、（仮称）



防災行政無線親局イメージ

苫小牧市民ホール事業の要求水準書が示され、意見交換会では、設計業務、参加資格要件、利用料金など、市民から関心の高さを伺える内容の報告があり、委員からも地元企業のさらなる活用策についての質疑がありました。その他、防災行政無線整備事業について、戸別受信機の貸与方法や運用要綱（案）が示され、屋外子局の地区別放送などについて質疑がありました。

第12回臨時会(令和3年1月15日)

第12回臨時会は1月15日(金)の1日の会期で、

議案1件「令和2年度苫小牧市一般会計補正予算（第10回）について」の審議を行い、原案通り可決しました。

【商工費】 飲食店等支援給付金事業費

(第10回)

▶9,849万3千円

新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け、売り上げが大幅に減少した飲食店等を対象に支援金を給付。



■議会改革検討会

～今後の市民との意見交換の手法を議論！～

1月19日に開催された議会改革検討会は、令和2年10月に実施した明るい選挙推進協議会との意見交換に対する検証を行い、今後の市民との意見交換の手法として制度設計について議論が行われました。

さらに議会だよりの廃止に伴う議会情報の発信については、定例会報告の議会ホームページへの掲載や紙媒体による定例会報告を公共施設へ配置するなどの代替案が示され、議会情報発信の新たな取り組みが始まります。この他、投票率の向上に向けた取り組みとして、明るい選挙推進協議会と市議会との協働による啓発活動の実施に向けた検討や期間を延長して実施していた傍聴者アンケートについても一定の役割を果たせたため終了することが確認されるなど、議会改革検討会における検討項目に従い進捗状況について議論されました。



矢嶋 翼
議員

★中学生の英検3級取得率について、苫小牧は厚真町の81%と比べて34%と低く改善の求めに対し、授業を含め英語に興味・関心を高める改善策を検討すると答えました。★英語の授業に民間の英会話教室や航空会社社員活用の提案に、人材の拡大必要時に民間の活用も選択肢の一つと示しました。★重すぎる通学カバンの要因は副教材にもあるとの指摘に、各学校に配慮を求めると答えました。



木村 司
議員

★苦小牧市子どもを虐待から守る条例について質疑しました。この条例が提出された矢先に幼児の遺体が見つかるという事案が発覚し



金澤 俊
議員

★子どもたちのいのちを守る！厚生委員会にて、市内で発生した幼児遺体遺棄事件の報道に関する質疑をしました。市内で子どもが不慮の死を遂げたという事例から、行政としてその子どものいのちを守り、当該家庭に救いの手を差し伸べるために何をしなくてはならないのか、何を改善しなくてはならないのか、必要な予算措置はないのか、そういった観点から本件



竹田 秀泰
議員

と市のかかりについて質疑しました。本議会では虐待から子どものいのちを守る条例案が可決されました。子どものいのちを守るために、我々市議会も市や市民の皆さんと一体となって、より一層の取り組みが必要となってきます。★スポーツ施設整備計画素案について、総合体育館改築は現在の面積の1.3倍でサブコートを想定し、令和10年度の完成を目指し、緑ヶ丘運動公園も候補地であり、駐車場の全体計画も視野に入りたいと答弁がありました。★コロナ禍における路線バスの維持について、令和2年度は事業者によりコロナ対策事業の補助を行い、利用者減に対する補助額増を早めに行い、早期に平日ダイヤへ戻すことができるよう協議を継続すると答弁がありました。★沼ノ端埋立処分場の約4万㎡の跡地利用について、沼ノ端クリーンセンター敷地全体の将来の展望を踏まえつつ、地域との協議を令和3年度から始めたいと



宇多 春美
議員

★市長公約の苫小牧音楽祭は、令和3年度に鑑賞事業のコンサートと若手音楽家を支援する事業を組み合わせて、文化芸術の振興を図ります。★DV対策について、配偶者暴力で迷い悩む被害者に対し、小さな相談にも対応できる配偶者暴力相談支援センターの設置を求めました。★男女平等参画社会推進事業のワーク・ライフ・バランス等企業表彰は、令和2年度で区切りとなりますが、3年間で10社が参画されたことを評価いたします。★不登校対策は、不登校の児童生徒が通える学校適応指導教室が市内中央に一か所ありますが、学ぶ機会が平等となるよう、またその場を保证するために東西での教室設置を求めました。



板谷 良久
議員

★IIRの現状について市は、候補地の特定に向けた検討を行い、自

然環境に関する課題はすべて整理できたことを明らかにしました。また、インフラ整備の財源は、交付金・起債・事業者負担など、協議していくことが示されました。

★国際交流拠点構想策定事業では、企業版ふるさと納税制度を活用し、苫小牧港を会場とする「食と音楽」をテーマのイベントを計画していることが明らかとなりました。

★令和4年に恵庭市で開催される全国都市緑化フェアについて市は、出光カルチャーパークや錦大沼公園などでのイベント開催など、協賛会場誘致に向けて全庁的に進めていくことが明らかとなりました。



喜多 新二
議員

★新型コロナウイルスの情報周知について、各部署の連携と発信を求めました。★市内の動物被害について、改善が見られない鳥や野良猫の被害の早期対応を求めました。★多頭飼育崩壊問題について、保健所の対応などを含め体制の確立と保護ボランティアの負担軽減を図るよう要望しました。★中小



山谷 芳則
議員

企業の支援について、飲食店を中心とした食品業界の現状を訴え、市職員へ周知のためチラシ持ち込みの受け入れ、消費に繋がる情報発信を提案しました。★小中学校へICT導入に伴い、周辺機器をPTAが基金を崩して購入していることを指摘し、今後は公費で負担すべきであると要望しました。

★学校給食におけるアレルギー対応食の提供について、保護者向けアンケート調査の結果と、調理ブーストから第一・新第二調理場で約150食分の対応ができる想定を踏まえ、今後の対応品目拡大の検討・決定後、令和4年4月から新しいアレルギー対応食を提供できるように進めると答弁がありました。★部活動の在り方について、顧問の成り手不足や教員の負担軽減、子どもたちの選択肢を狭めることのないよう顧問に民間人材の活用を提案し、中学校部活動指導員制度の導入に向けて検討を進めると答弁がありました。

市民派会

桜井 忠・谷川 芳一



桜井 忠
議員



谷川 芳一
議員

- 一般質問
- 1. 新型コロナウイルス感染症
 - (1) 陽性者と感染者について
 - (2) PCR検査について
 - (3) 陽性者数と死亡数などについて
 - (4) ワクチンについて
 - (5) 市内医療体制について
 - 2. HPVワクチンについて
 - 3. 小学校区の見直しについて
 - 4. 市営住宅
 - (1) 建て替え事業について
 - 5. 不妊治療対策について
 - 6. 水素拠点港整備促進について
- 本会議審議
 - 子ども虐待防止条例について
 - 厚生委員会
 - 北光町で起きた事件について
 - 新型コロナウイルス感染症について
 - 陳情
 - 「寿都町並びに神恵内村の核のこみ最終処分場の文庫調査応募問題に係る決議に関する陳情」「国の責任による少人数学級の実現を求める要望意見書提出に関する陳情」について拒否しました。

■議会報最終号にあたって
今回をもって10年近く続いていた議会報が終了します。顧みれば10年前、市民に議会の様子を伝えようと視察に行く先々で発行されている議会報をいただき、苫小牧の後進性を自覚し、なるべく事務局に迷惑をかけないで発行しようと12Pで始めました。

ただ、先のアンケートでは多くの市民が読んでいることには安堵しましたが、各戸配布に多くの税金がかかっていることを指摘する意見が多く、一旦中止しSNSなどの手段をもってアンケートに答えようという結論になりました。しかし会派市民は俄かに賛同できません。民主主義は一定のお金がかかります。それを覚悟で始めたのではない。まだ市民の中にはSNSを使えない、紙媒体を頼りにしている方々がいる。そういう方々を取り残してしまわないかと思うからです。他会派は温度差があるにしても廃刊に賛同しました。そこで会派市民も紙媒体に頼る人々に手厚く対処するという前提で認めました。



民主クラブ

松尾 省勝・岩田 薫・佐々木修司
橋本 智子・小山 征三

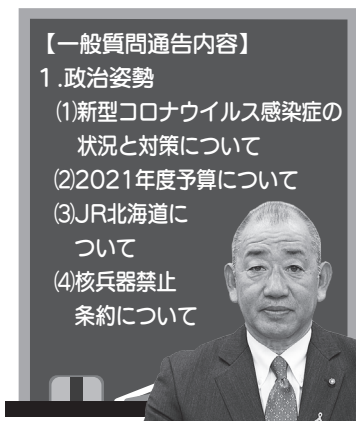
市の新年度予算案の編成作業は大詰めを迎えています。状況で組み方は大きく変わってきます。人口減少が加速する中でのコロナ禍。残念ながら税収減は避けられそうにありません。血税が



監査委員として

小山征三議員

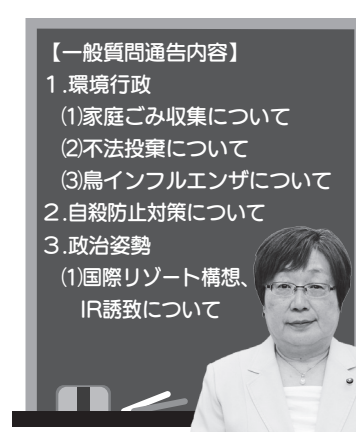
★新型コロナウイルス感染症の状況と対策では、感染が拡大する中、市としてこれまで以上に市民に対して注意喚起を行うとしました。★JRインについて、当初予定の二〇二二年開業が困難なことが明



一般質問

岩田 薫議員

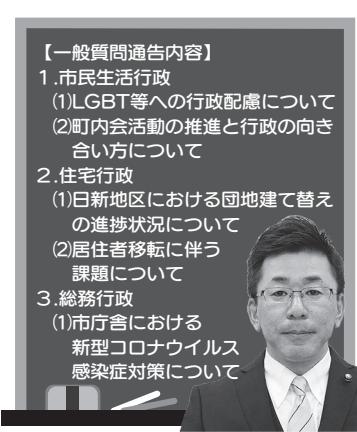
適切に使われているか、事業は効果的か、細部にわたって厳しくチェックし、必要に応じて改善を求めます。市民がコロナを乗り越え、日常を取り戻す一助となる提言にも努めてまいります。なお、競争入札参加資格申請について事業者市双方の負担軽減へ資格有効期間の延長（現行の2年から4年へ）を求めています。新年度登録分から実施となりました。



橋本智子議員

らかになったことから計画の延期や変更を求めました。★苫小牧市非核平和都市条例が、二〇二二年に20周年を迎えることから、市民団体などの意見を聞いて記念行事を決定していくよう求めました。

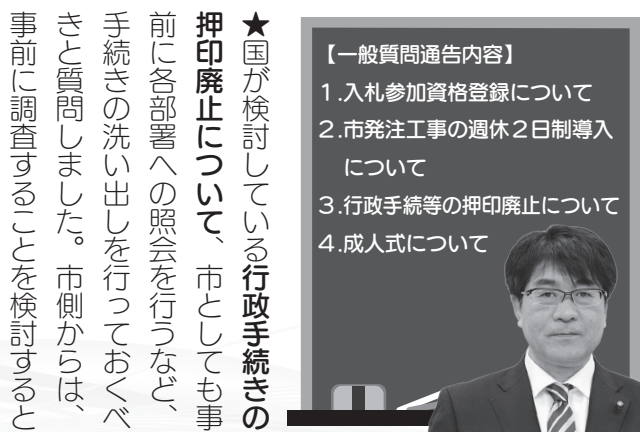
★市庁舎における新型コロナウイルスの対策については、市民対応を行う窓口への飛沫防止シートの設置や出入口などへの消毒液の設置、定期的な換気などが行われていますが、一階の待合スペースについては、感染拡大防止策を講じないまま飲



松尾省勝議員

★令和2年6月に苫小牧国際リゾート構想環境影響評価調査の報告がまとめられたことによる経過報告及びIR誘致の取組状況が示されました。国の基本方針が決定せず、IRの主体である北海道の方向性が見えない中、なぜこの時期に報告したか質問しました。

★国が検討している行政手続きの押印廃止について、市としても事前に各部署への照会を行うなど、手続きの洗い出しを行っておくべきと質問しました。市側からは、事前に調査することを検討するとともに、市民サービスや事務効率化の観点から国の動向に合わせ、市独自の見直しも進めていくとの考えが示されました。



佐々木修司議員

食などを認めるなど、感染症対策が不足していることを指摘しました。市側は、警戒ステージの引き上げ、緊急事態宣言が再度発出された場合、都度有効な対策を行うと答弁しました。

公明党議員団

池田 謙次・藤田 広美・神山哲太郎
大西 厚子・大野 正和

新型コロナウイルスの感染が収まらない中、感染防止に努めなが



藤田広美議員

ほかに、死亡時のワンストップ窓口が一月にスタートすることも実現いたします。

犯カメラの設置を訴えました。まずは、市内で2カ所の設置が実現いたします。担当課のご尽力に、同じく感謝いたします。

コロナ禍で勇払地域のご高齢者の方々から「市営バス休日ダイヤの運行ですが、できれば朝の9時台に一本欲しい」とのお声をいただき質問しました。異例の速さで実現し、苫小牧市と道南バスさんには、心から感謝いたします。

コロナ禍での市議会定例会は最終日に延会となりましたが、粛々と取り組みました。



池田謙次議員

ら市議会定例会は開会されました。教育・福祉・経済対策など真剣な質疑が行われました。特に「苫小牧子どもを虐待から守る条例」では9人の議員から質疑があり、条例が可決成立しました。今後、より具体的な施策が検討されますが、条例が全市民の共通認識となるように取り組んでいきます。



神山哲太郎議員

土地利用の在り方や交通と道路計画について、美沢錦岡通りの一部は供用になっているがほとんどの計画が進んでいないので見直しするべきと質問しました。どの様な見直しができるか北海道とも協議したいと答弁がありました。

市内における降灰現象について、平成7年からススの付着が発生し

現在も数件あるが、原因や対応について質問しました。企業によっては設備更新もあり状況の変化が考えられる。改めて成分分析や踏み込んだ調査をしたいと答弁がありました。その他、地域の交通安全対策について質問しました。



大西厚子議員

遠距離通学支援について、市独自の3km以上の距離基準と補助割合の見直しなどを提案し、今後の社会情勢の変化などに応じ、教育的観点など総合的に通学の在り方を検討したいと答弁がありました。災害時にマンホールの蓋を外して使用するマンホールトイレの整備について、市保有の153基の計画的な早急な整備を求め、時間をかけずに実態把握を行い計画策定に着手すると答弁がありました。



大野正和議員

結婚支援で住宅賃貸費用や引越費用を補助する結婚新生活支援事業への取り組みを求めました。インフルエンザ予防接種の助成について、子育て世帯や受験生への継続的な助成拡大を求めました。税外収入増を目指し、市内の公園の里親制度を提案しました。スポーツ施設における広告の取り扱いが広告代理店に任せきりになっていることを指摘し、代理店向けになっている市のホームページを事業者さん向けに変更、さらに、チラシを製作し営業活動の提案をしました。令和2年度中にすべて行うとの答弁がありました。少人数学級実施へ向けて進んでいくべきと求め、道へ35人以下学級を堅持・拡充すること、一層の定数改善と加配措置の充実を要望し続けると答弁がありました。灯油運びボランティア・不妊不育症治療・SNSによるこども相談窓口設置についても質問しました。



改革フォーラム

松井 雅宏・越川 慶一
首藤 孝治・牧田 俊之

【苦小牧市子どもを虐待から守る条例】再提出を求め会派で反対！
本条例は児童虐待ゼロを目指す上で多くの市民や関係者が要望する意義深い大切な条例です。しかし、北光町の幼児遺体遺棄事件という非常に痛ましい事件が発生したにも関わらず、市民からの通報の存否も明らかにせず、市の対応については一切の説明がありません。本条例は今議会で成立しなければ児童相談複合施設の開設や今後の児童虐待への対応に支障をきたすものではないことも質疑で明らかになりました。真に児童虐待ゼロを目指すためには本事件の市の対応の検証と説明責任を果たし、条例の再点検をした上で再提出することを求め反対しました。



牧田俊之議員

【企業誘致】
近年、製造業関連の新規企業進出は苦戦している中、東港区に温度管理型冷凍冷蔵倉庫が完成しました。市長のフードボート構想に合致し、食品加工や植

物工場の進出は今後の成長分野であり、苦小牧港周辺の食関連産業の進出に期待しています。

【カーボンニュートラル】苦小牧市の水素エネルギープロジェクトはCCS実証試験における30万トンの圧入を達成し、メタノールを合成するカーボンリサイクルの実証試験実施に向けた検討が行われ、苦小牧CCUS・カーボンリサイクル促進協議会へ改組しています。連携の可能性が期待される市内企業も新たに会員として参加し、FCVや水素ステーションの設置については、国などの動向を注視し検討を行いたいと考えています。



首藤孝治議員

【家庭ごみの戸別収集】平成28年7月から14地区3千世帯をモデル地区に指定し実施している戸別収集について、この度のコロナ禍の影響や収集コスト及び人材確保などを考慮すると現時点で全戸への拡大は困難であり、市は一時凍結の判断をしましたが、私は凍結で

はなく中止すべきと考えています。

モデル地区は検証が継続され、毎年9千万円ほどの費用が必要なことや全戸に拡大した場合、さらに3億5千万円以上の事業費が必要であり現況では難しい状態であることを指摘しました。この費用を削減し、コロナ禍で大変な思いをしている市民や事業者にコロナ対策事業費へ振り替えるべきと訴えました。市は今後の凍結期間2～3年間モデル地区の検証を続けることを理解してほしいなどの答弁がありました。



越川慶一議員

【苦小牧駅前の再整備】今後の苦小牧市は少子高齢化の進展を意識したまちづくりがポイントになります。今回、苦小牧駅前の再整備の提案はメインとなる施設に温泉を利用した「健康増進施設（予防医療や健康づくりを図る施設で、温水プール、子どもたちが遊べる遊具などを配備し、さまざまな年代のニーズに対応できます。また、



松井雅宏議員

駅前には交通の利便性が良く利用者が集まりやすいことに加え近隣宿泊施設と提携し施設利用できると観光客にも人気が出ると考えます」を提案しました。市長は「多世代が一緒になって楽しめる施設の視点は大変重要であり、駅前ブラザエガ才の権利を100%取得し次の段階に進めるよう全力を尽くしたい」と答弁がありました。

【新型コロナウィルス】感染拡大と長期化に伴う生活困窮者や市民

生活及び地域経済の影響の認識を質問した上でさらなる支援策の必要性を具体的提案も交え求めました。また、この危機を全市一丸となつて乗り越える覚悟と今後の諸対策の考えや取り組み姿勢を市長が示すことによって、厳しい年越しを迎える市民及び企業市民に勇気や希望を与えるトップリーダーとしてのメッセージの発信を求め、その取り組みを約束していただきました。

日本共産党市議団

小野寺幸恵・原 啓司・富岡 隆

●IR



原 啓司 議員

「IR候補地特定に至るすべての課題が解決された」と表明されたことについては、環境影響調査が不十分であることや、何よりも重視しなければならない市民理解が進んでいない点を挙げて、何も解決されていないと指摘しました。

苦小牧国際リゾート構想推進事業については、予定されていた中間報告がされていないが、年度内の最終報告が可能なのかと質問し、新型コロナが拡大する中で、令和3年度予算は、IRよりも市民のいのちや暮らしが優先されることに向けられるべきだと指摘しました。
●生活保護受給者の健康管理支援
生保受給者の健診受診率がほかの健康保険と比較して大幅に低いことを踏まえて、国保のように無条件ですべての受給者に受診券を配布し、推進すべきと求めました。健康管理支援に必要な、専門職の配置については、「配置に向けて調整している」と答弁されました。



小野寺幸恵 議員

●事業者へのコロナ対策

地元事業者から「年を越せない」などの悲痛な声があることを紹介し、国の持続化給付金や家賃支援などの継続の必要性を求めました。市長は「あらゆる政策の総動員をしなければならない。国の第3次補正予算の状況を見守りたい」と答えました。

また、倒産という事態にならないように、市独自の支援策も急ぐように、強く求めました。

●医療・介護現場の対応

医療機関では受診抑制などの影響で、夏・冬のポナスを大幅に引き下げるなど経営に大きな影響が出ていること、市内の介護事業所ではすでに閉鎖するところがあることを紹介し、「国の赤字補填は待ったなしである。市から強く求めるべき」と提案しました。

市長は、「あらゆるチャンネルで窮状を届けていく必要がある」と、優先度高く取り組んでいくことを示しました。



富岡 隆 議員

●市営住宅等長寿命化計画

市営住宅の建替事業に伴い、今後、市民ホールの建設も予定されていることから、市民会館や文化会館の跡地を活用するなど、まちなか再生の視点から、「まちなか」に市営住宅を建設すべきではないかと提案しました。

担当部長は、「今は具体的に、どの場所に、どのくらいの高さで市民ホールが建設されるのか見えていないことや、市営住宅を建設するには、それなりの土地が必要になること、まちづくりの方針として、既存町内会、自治会にも影響するので、5年後の見直しに向け可能性について検討していきたい」と答弁しました。

「コロナの影響から労働者が失業を余儀なくされ生活が困窮する状況もあり管理戸数を減らす考え方を見直す必要性については、「5年目の見直しの中で政策的なまちづくりなどを詰め検討していく」と答弁しました。

無所属

議員 高秀 沢 触

後議連では、ほかの議員さんの質問内容と重複することもあり私の一般質問は行いませんでした。コロナ禍の中で、市民の皆さんは大変な思いで過ごされていると思います。この新型コロナウィルスについて、私見を述べさせていた

だきたいと思います。私は現時点では新型コロナウィルスは発見されていないという認識でいます。病原性のあるウィルスだという論文や情報を見つけたことができません。このことは事実です。いったいどうなっているのかと感じています。テレビや新聞の情報を鵜呑みにせず、自分で調べることが、コロナ禍を抜け出すことになると私は考えています。10年間続いた議会だよりがこの号でひとまず最終号となりました。今後の議会の情報は議会ホームページからの発信となります。ぜひ市民の皆さんにおかれましてはアクセスをいただければと思います。



「市議会だより」発行終了！ 今後の情報発信の方法は？

◆市議会ホームページで！

- 定例会・臨時会の概要を、定例会ごとにまとめ、2週間以内に掲載します。（令和2年度中）
- 議会改革検討会は、これまでの内容に加え検討項目などを整理して掲載します。（令和2年度中）



◆会議録検索システムで！

- これまでの会議録に加え、4常任委員会、2特別委員会についても会議録全文を掲載します。（令和3年度以降）

◆紙媒体の印刷した定例会報告で！

- 紙媒体による情報発信として、印刷した定例会報告をコミュニティセンターなどに設置します。
そのほかに要望がある場合は個別に対応します。（令和3年度以降）

◆会派・個人のSNSで！

- 令和3年度予算可決後以降、タブレット導入により、会派の状況や議員活動の速やかな発信を予定しています。
- 各議員のSNSのリンク先を、市議会ホームページの議員名簿に貼ることで情報発信を強化します。（令和3年度以降）



総務委員会



厚生委員会



文教経済委員会



建設委員会



アンケートの実施などを通じ、より市民に身近な、開かれた議会を目指し取り組んできました。

これからは各議員がそれぞれが、議会の模様を発信してまいります。

令和2年度 議場コンサートについて

令和3年2月に予定しておりました議場コンサートにつきましては、新型コロナウイルス感染症対策のため、中止とさせていただきます。

議会日程のお知らせ

●2月市議会定例会

月 日	内 容
2月17日(水)	陳情締切り(17:00まで)
2月18日(木)	本 会 議 市政方針・教育行政執行方針・議案等審議
2月25日(木) 26日(金)	本 会 議 代表質問
3月2日(火)～ 9日(火)	一般・企業会計予算審査特別委員会
3月10日(水)	常 任 委 員 会
3月11日(木)	特 別 委 員 会
3月12日(金)	議 会 改 革 検 討 会 本 会 議 (議案等審議)

※2月18日、25日、26日、3月2日から11日までの開催時間は10時(予定)からになります。(3月12日は未定です)
※日程などについては新型コロナウイルス対策等のため変更になる場合があります。(土・日・祝日は休会)
詳細は、議会事務局にお問い合わせください。

編 集 後 記

2012年に発行を始めた市議会だよりも最終号となりました。これまでの発行にあたり、ご協力をいただいた皆様に心より感謝を申し上げます。

フリートークでは、明るい選挙推進協議会・市内高校の新聞部の生徒をはじめ、多くの皆様からご意見ご提案をいただきました。これらの経験は私たちの貴重な財産であり、必ず今後の情報発信に活かしてまいります。

今後ともよろしくお願いいたします！

とまこまい市議会だより

編集委員長 板谷 良久

とまこまい市議会だより編集委員会

板谷 良久・山谷 芳則・大西 厚子・大野 正和・橋本 智子
越川 慶一・原 啓司・桜井 忠・触沢 高秀